

教材名			『ふるさと山梨』の章・ページ
富士を刻む			第2章⑤ P. 24, 25
教科(領域)等	美術科(鑑賞)	学年(分野)	第1～3学年

1. 教材のねらいと概要



富士を描いた2人の作家の連作を比較鑑賞し、表現の違いや作品に込めた思いを感じ取り味わう。

- ・葛飾北斎『富嶽三十六景』8点と萩原英雄『三十六富士』7点を掲載している。

2. 活用例

教科名等	美術	単元(題材)名等	富士を刻む
活用場面		活用のポイント	
鑑賞	時を隔てた2つの富士の連作を取り上げて、比較することで、表現の違いや伝統的な木版画の世界に触れる。		時間 100分

3. キャラクターの投げかけの意図と解答

ページ	投げかけの言葉	意図	解答例
P. 25 	・両者の作品には、表現としてどのような違いがあるのでしょうか。作品を観察して考えてみましょう。	約150年を隔てて制作されている2つの連作の違いから時代や作家の視点について考える。	北斎の作品には、一部を除いて人が描かれて風俗が感じられるのに対して、萩原作品は風景のみなど
P. 25 	・萩原は富士山に対して、どのような思いを持っていたのでしょうか。作品の特徴とあわせて、考えてみましょう。	千変万化の富士の四季を色彩豊かに表現した萩原が、25年もの歳月をかけて富士に挑んだ思いを推し量る。	富士は欠点のない美女で絵にしにくい。他の芸術家とはひと味違う富士山の描き方を追求した。(本人談)

4. 写真・資料の補説

それぞれの作品は山梨側から描かれたと思われる作品(諸説あり、必ずしも全ての作品が山梨側から描かれたとは言い切れない)

5. 参考文献・関連施設等

参考文献名	発行所	著者・编者	発行年
「北斎と広重 二人の富嶽三十六景」展図録	山梨県立博物館	山梨県立博物館	2007
「萩原英雄全仕事」展図録	山梨県立美術館	山梨県立美術館	2001
「美の遍路」	日本放送出版協会	萩原英雄	1996
参考ホームページ	URL		
山梨県立博物館	http://www.museum.pref.yamanashi.jp/3rd_fujisan_01fugaku.htm		
山梨県立美術館	http://www.art-museum.pref.yamanashi.jp/exhibition/2013/10/-100.html		